

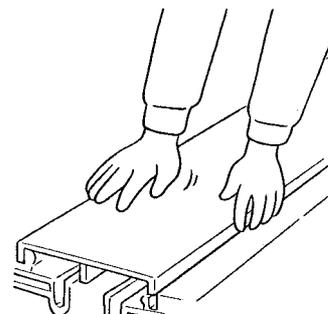
! カバーを引張らないでください。

天井用アーキパンションに直接フックを取り付けたり、ものを吊り下げたり、引っ張ったりしないでください。外れてケガをする恐れがあります。



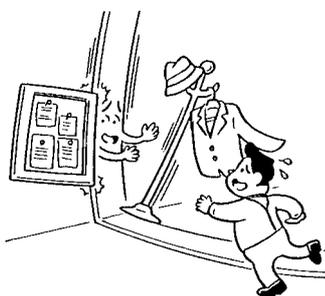
! カバーがずれた場合はすぐ元の位置に戻してください。

アーキパンションカバーは常に動いているため、ずれたり、隙間ができることがあります。(機能に支障はありません。)



! カバーを固定したり、物を置かないでください。

アーキパンションカバーは常に動いています。動かないように固定することは絶対に避けてください。脱落や変形の恐れがあります。また、カバーの上に物を置くと倒れる恐れがあります。



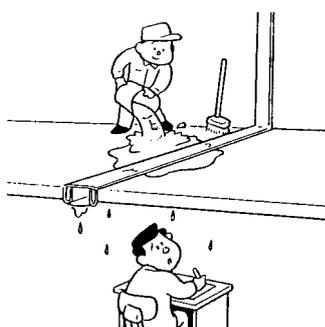
! 荷重・衝撃をかけないでください。変形する恐れがあります。

カバーの上で遊んだり、ボールを投げたり手で引っ張ったりしないようお子様にご注意ください。ケガや変形の原因となります。



! 水を流さないでください。漏水の恐れがあります。

アーキパンションカバー内に水を流さないでください。特に床面の清掃時に直接水をまかないでください。階下に漏水の恐れがあります。



! 重量物の移動時は鋼板などを渡してください。

カバー上を重量物運搬車や、フォークリフトなどが通過する際はその重量に耐えられる鋼板など(厚さ6mm程度)を渡してください。



! 取り外しは専門業者にお任せください。

取り外しには危険が伴いますので必ず専門業者にお任せください。

ご使用上の注意



カバーを固定したり、物を置かないでください。

アーキパンションのカバー材は常に動いています。設計上の造作物を設置する場合はアーキパンション部を避けてください。可動部のため脱落や変形の恐れがあります。また、カバーの上に物を置くと倒れる恐れがあります。



水を流さないでください。漏水の恐れがあります。

補助シートは結露など微少な水に対する部材であり、防水シートではありません。アーキパンションカバー内に水を流さないでください。特に床面の清掃時に直接水をまかないでください。階下に漏水の恐れがあります。



重量物の移動時は鋼板などを渡してください。

アーキパンションの耐荷重につきましては、設計資料(48P～50P)をご参照ください。カバーの上を重量物運搬車や、フォークリフトなどが通過する際は、その重量に耐えられる鋼板など(厚さ6～10mm程度)を渡してください。